

**THE GLOBAL
CHAMPION OF**

ECOLOGICAL

TRANSFORMATION

ヴェオリア会社案内 2021-2022



THE ESSENTIALS 2021-2022





グループの

歴史における新たな一章

ページ2

ヴェオリアの概要
ページ4

エコロジカル・トランスフォーメーション
変革に不可欠な強み
ページ6

より大きな結果を出す
多面的パフォーマンス
ページ8



エコロジカル・

トランスフォーメーションの加速

4つの主要課題の解決に向けて
ページ10

気候変動との戦い
ページ12

資源利用の最適化
ページ14

汚染物質の処理—
最も高難度な課題にも対応
ページ16

「生活の質」の向上
ページ18

エコロジカル・トランスフォーメーション (環境変革) —ヴェオリアのパーパス (存在意義)

喫緊の課題

喫緊の地球環境課題が次々と表面化し、社会に及ぼす影響も明らかになっています。気候変動、資源の枯渇、生物多様性の崩壊、様々な環境汚染といった地球環境の緊急事態は、私たちに単なる「変化」をはるかに超える取り組みを求めています。

今こそ行動を

もはや先延ばしにはできず、徐々にやり方を変えていくような余裕はありません。今こそ明確で組織的な決断を行う時、つまりエコロジカル・トランスフォーメーションの時なのです。エコロジカル・トランスフォーメーションのベンチマーク企業として、ヴェオリアは、ソリューションの迅速かつ大規模な展開に取り組むとともに、グローバル規模のニーズを予測するため、研究とイノベーションに投資します。

潮流を変えるソリューション

私たちが現実的かつ全く新しい生産と消費のパターンを受け入れるには、徹底的な変革が必要です。

私たちは、エコロジカル・トランスフォーメーションを加速させ、地球と人類の未来を守るサーキュラーエコノミー (循環型経済) を実現するための具体的なソリューションを設計、そして実行しています。

ステークホルダーのために、そして共に

ヴェオリアは、経済、環境そして地域社会のニーズを不可分のものとしてとらえ、ステークホルダーである産業や農業、地方自治体や国の当局、NGO、個人そして市民と協働しています。

**目標はとてつもなく高い
そして同様に強い意志を抱いています**

共同インタビュー グループの歴史における 新たな一章



— 2021年

アントワヌ・フレロ 2021年は歴史的かつ特別な年でした。私たちは、新型コロナウイルスの世界的大流行による未曾有の状況を、特別なプロジェクト—すなわち、スエズとの合併によって乗り越えました。これはヴェオリアがこれまで経験したことの無い規模と範囲の事業です。

エステル・ブラシリアノフ 2021年で最も印象的だった出来事は、スエズのチームとの最初の話し合いです。私たちは同じ考え方や事業ビジョンを持ち、共に多くのことを達成できることがわかりました。

— スエズとの合併

ブラシリアノフ 順調に進んでいます。私たちは当初から慎重に準備し、この合併がうまく機能するようそれぞれが努力しました。私たちは成功の見込みが十分にあることを確認しました。この準備が功を奏したと思っています。組織図が整備され、チームが協力し合い、情報が行き渡り、プロセスがつながっています。半年以内にこの合併を実現することができるでしょう。これ以上ないほどのスピードで進んでいます。

フレロ 新たに4万人がヴェオリアに加わりました。この新しい組織は非常に将来性があり、この合併の成果を得ることを楽しみにしています。

— 成功

フレロ グループの事業は順調です。戦略の妥当性と質の高さ、各チームの強力な関与、そしてイノベーションを可能にする専門技術と能力など、いくつかの理由があります。また、パーパス（存在意義）を策定したことも理由の一つです。結果として、私たちはなぜ、誰のために、そしてどのように、ステークホルダーの役に立つことができるかを理解しています。長年にわたり、私たちは最も好調な部門にビジネスモデルを集中させ、組織の機敏性と即応性を高めてきました。そうすることによって、製品とサービスの付加価値を向上させてきたのです。

2021年には、スエズとの合併に向けて積極的に準備を進める一方、多くの商業的な成功を収めました。

ブラシリアノフ パーパスを基盤とし、知的で戦略的、そして経営的な革命を起こしました。パーパスは、ヴェオリアの若い世代にとって、特に重要だと考えています。その重要さに気がついたとき、彼らは心の中で「この会社には気概がある。この会社にコミットする価値がある」と感じるので。

— 2022年

ブラシリアノフ ウクライナの紛争により、劇的な形で改めて地政学を身近に感じるようになりました。この危機は、長年ヴェオリアが顧客とヴェオリア自身のためにとってきた戦略的な選択、すなわち、化石燃料と世界的なサプライチェーンへの依存を減らすという選択が正しかったことを証明しています。なぜなら、それは地球にとって良いことであると同時に自律性と自由の源でもあるからです。

フレロ このパラダイムシフトによる生産プロセスとライフスタイルの本質的な変革をよりいっそう支援することは、ヴェオリアのビジネスそのものです。

ブラシリアノフ 2022年、当社はEBITDAの有機的成長率を4%~6%とする目標を発表しました。私たちは、スエズとの合併によって生み出される相乗効果の恩恵をすでに受け始めています。

— 未来

ブラシリアノフ ヴェオリアグループは、エネルギーの消費量削減と生産増大を両立させ、ソリューションを加速するために、1億5,000万ユーロの特別予算を割り当てています。お客様と協力しながら、2年以内に消費を5%削減し、生産を5%増加させます。

このアプローチはエネルギーに限定しているわけではありません。

「私たちは、新型コロナウイルスの世界的大流行による未曾有の状況を、特別なプロジェクト—すなわちスエズとの合併によって乗り越えました」

アントワヌ・フレロ

「ヴェオリアが業界をリードし続けることを望むなら、よりいっそう時代の流れを意識し、ステークホルダーの期待を予測しなければなりません」

エステル・ブラシリアノフ

私たちは、廃棄物や廃水からすぐに利用できる資源を取り出すプロセスの考案や改善を模索しています。そして経済が円滑に機能するために必要な資源を地元で抽出し、生産することも目指しています。例えば、プラスチックのリサイクルや廃水の再利用、電池、パソコン、携帯電話からのレアアースや貴金属の回収、有機廃棄物や下水汚泥からの肥料原料回収、有機廃棄物からの飼料原料の生産などです。

— 新たな中期経営戦略

フレロ 今年から、ヴェオリアの新たな中期経営戦略を策定しはじめます。2024年から施行します。取締役会は、戦略の方向性と経営をチェックします。また、合併の進行およびパーパスについても注意深くモニタリングする予定です。

ブラシリアノフ 私たちはこれからも共に成長を続けていくということですね。



*2022年6月時点

ヴェオリアの概要

2022年、ヴェオリアはエコロジカル・トランスフォーメーションのリーダーへと生まれ変わりつつあります。
世界各地で存在感を高め、よりいっそう協力的に地域社会と企業を支援していきます。

22万人

スエズ合併後の従業員数

384億ユーロ

スエズ合併後の昨年度の累積収益⁽¹⁾

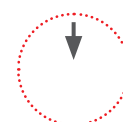


水事業

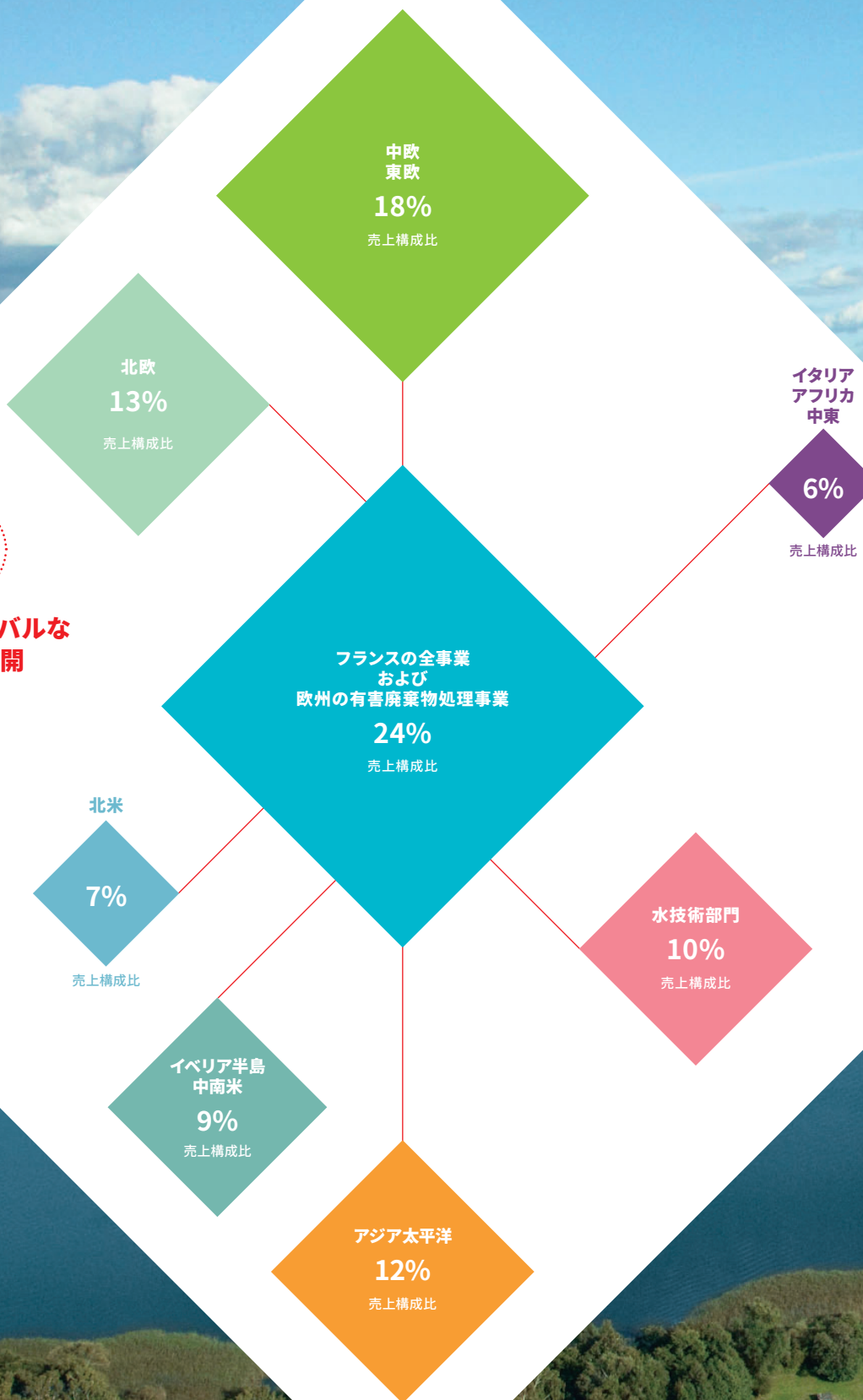
廃棄物処理事業

エネルギー事業

3つの事業分野
5つの大陸における事業活動



グローバルな事業展開



(1) 2021年12月31日に終了した会計年度の要約連結損益計算書

エコロジカル・ トランスフォーメーション

変革に不可欠な強み⁽¹⁾



付加価値の高いノウハウ

- ◆ 有害廃棄物処理、土壌浄化、産業廃水の除染など、複雑な環境問題への対応に関する専門知識・技術

各マーケットによる共同開発、 高インパクトのイノベーション

- ◆ 30の専門研究室を抱える4カ所の研究所
- ◆ 全世界で200社を超えるパートナー企業とのネットワーク
- ◆ オープンイノベーション（ヴェオリア独自のアクセレレータープログラム）

意欲的な従業員

- ◆ 17万6,488名の従業員
- ◆ 従業員の87%がヴェオリアで働くことを誇りに感じている

野心的な気候変動対策

- ◆ 2050 ネットゼロ・ロードマップのスコープ1～3を策定中
- ◆ グリーンパス：顧客のバリューチェーン全体においてカーボンフットプリントを削減するための100のソリューション

(1) 2021年12月31日現在

より大きな結果を出す

多面的パフォーマンス

生産と消費のパターンを変え、地球と人類の未来を守るためには、抜本的な変革を実行するしかありません。お客様の環境フットプリントを改善することが私たちの事業核であり、ビジネスモデルの源でもあります。ヴェオリアはグローバルなローカル企業であり、長期的な視野で将来を見据えています。



私たちのコンパスとしてのパーパス

ヴェオリアのパーパスでは、「企業が成長するのはその企業が有用だからであって、その逆ではない」と言明しています。ヴェオリアでは、経済、社会、環境の課題を不可分のものとして捉え、それに取り組んでこそ、人類の持続的発展が可能であると確信しています。飲料水へのアクセスによって公衆衛生と生活の質を担保することで、ヴェオリアは1853年以来、その道をリードしてきました。今日、私たちは水、廃棄物、エネルギーの各分野で、必要不可欠なサービスへのアクセスを容易にしています。そして、資源を効率的に使用し、リサイクルすることによって、資源を守るソリューションを世界中の自治体および企業のお客様に提供しています。

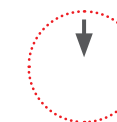
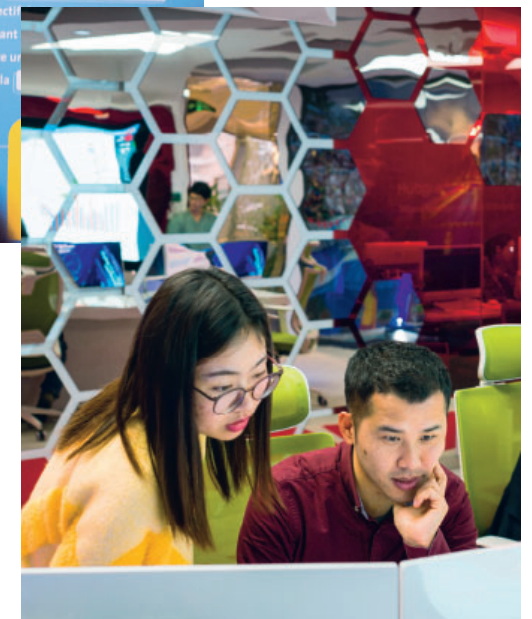
多面的パフォーマンスの実現

多面的パフォーマンスとは、ヴェオリアの組織と事業の中心にある、自らの言葉を実現するためのツールです。地域社会、環境、事業、経営・財務、人財の5つの側面で測定され、ヴェオリアのすべてのステークホルダーと合致しています。これらの側面に等しく注意を払い、**バランスよく貢献することを目指しています**。多面的パフォーマンスは18の目標を掲げ、19のKPIによって評価されます。18の目標はそれぞれ、「Excom スポンサー」と「グループターゲットマネージャー」によってモニタリングされます。また、これらの指標は毎年、独立した機関によって監査されます。



多様なステークホルダーの一体化

ヴェオリアは、エコロジカル・トランスフォーメーションを加速させるためには、ステークホルダーに開かれた企業である、「**プラスワン エコロジーを行動へ**」というグループを作りました。このグループは約50名のステークホルダー代表者（従業員、顧客、株主、地域社会、地球環境）で構成されており、お互いに協力しながらエコロジカル・トランスフォーメーションを推進することを目指しています。この取り組みはヴェオリアグループのウェブサイトでも公開しています。2021年、ヴェオリアは「**エコロジカル・トランスフォーメーションスクール**」を立ち上げ、2つのミッションを掲げました。それは、プラネタリー・バウンダリーと持続可能な開発に関して、エコロジカル・トランスフォーメーションのソリューションと最も適切な影響評価ツールを推進すること。そして、特に長期失業者や離職者訓練を受けている人々のために、エコロジカル・トランスフォーメーションのスキルについて、あらゆるレベルの人々を訓練することです。このプロジェクトには、企業、公共職業訓練機関、ソーシャルパートナーが参加しています。



103万 3,623

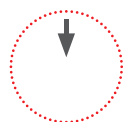
全世界でヴェオリアの事業が創出している雇用の数



エコロジカル・ トランスフォーメーション の加速

4つの主要課題の
解決に向けて

気候変動との闘い



35万トン (年間)

ソルベイ向け
SRF (廃棄物固形燃料)
製造量

気候変動との闘いが始まります。地球温暖化を抑制するためには、化石燃料の大幅な削減、再生可能エネルギーの拡大、エネルギー効率の向上、そしてライフスタイルの変革が必要です。気候危機はすでに私たちの生活に影響を与えています。気候変動の影響に対応するため、ヴェオリアは水とエネルギーの供給サービスを確実に継続するシステムを提供しています。



また、ヴェオリアグループは建物のエネルギー効率化や、地域や未来のエネルギー源を活用し、温室効果ガスの排出量削減にも取り組んでいます。産業活動の基準適合、供給確保、そしてカーボンフットプリント削減に貢献しています。

気候のために行動するということは、可能な限り生産地に近い場所で、新たな再生可能エネルギー資源を開発することを意味します。例えば、**ブラジル**では、有機性廃棄物から出るバイオガスで生産されるグリーン電力によって、人口 42,000 人の都市の電力と暖房の需要をカバーしています。また、ヴェオリアは**サンパウロ州**と**サンタカタリーナ州**で、廃棄物再生センターに 3 基の発電所 (12.4 MW) を建設しました。

米国のカリフォルニア州リアルト市では、バイオガスコジェネレーション (熱電併給) とソーラーパネルおよびバッテリーバックアップシステムを組み合わせたマイクログリッドで、同市の下水処理場にエネルギーを供給する予定です。カリフォルニアは気候変動による自然災害の増加に直面しているため、処理場のエネルギー自立によって、熱波や山火事による送電網の故障に対する脆弱性を低減できると期待されています。このプロジェクトは、河川環境の保全にも貢献します。さらに、ヴェオリアは、リサイクル不可能な廃棄物から製造される SRF (廃棄物固形燃料) など、化石燃料に代わる現地生産の再生可能燃料を開発しています。



「ヴェオリアは
エコロジカル・
トランスフォーメーション
の一環として
脱炭素産業に
貢献しています」

アントワヌ・フレロ
ヴェオリア 会長兼 CEO

例えば、ヴェオリアは**ソルベイ**のために、**フランス**にあるドンバール (Dombasle) の工場で年間 35 万トンの SRF を製造することで、20 万トンの石炭輸入を回避しています。この熱電併給は、熱と電力を供給し、それを再利用することで、工場の競争力を高めています。

イノベーションフォーカス

気候のために行動するということは、CO₂の回収やグリーンエネルギーの利用など、温室効果ガスの排出を抑制するソリューションを設計することも意味します。例えば、**ヴェオリアとトタルエナジーズ**は大気から CO₂を回収し次世代のバイオ燃料を生産するために、**微細藻類の培養実験**を行っています。この研究プロジェクトは、最も効率的な微細藻類培養システムを特定することを目的としており、**フランス**のラメードにあるバイオリファイナリーで行われています。さらに、ヴェオリアは、15 カ国以上においてヴェオリアの廃棄物または廃水処理

施設からバイオメタンを回収するためにトタルエナジーズと協働しており、2025 年までに年間最大 1.5TWh のバイオメタン回収を目標としています。ヴェオリアは、最も革新的な環境プロジェクトのひとつとして、**フランス**のトゥーロン・プロヴァンス地中海都市圏とともに、**イェール市**の下水汚泥からグリーン水素を製造するシステムの研究も行っています。このグリーン水素燃料は、市の保有する車両とシャトル船に使用されています。最終的には、1 カ所の下水処理場で 1 日あたり 200kg から 300kg のグリーン水素を製造できるようになります。



ヴェオリアは自社の事業場やお客様向けに、太陽光発電を強化しています。また、ヴェオリアは電力平均分配と集約を通じて、電力網に対して**柔軟なエネルギーソリューション**を提供します。例えば、年間 6 億 3000 万 m³ の下水を処理する 1,900 か所の下水処理場では、人工知能 (AI) を使って電力エネルギー消費量を

調整することで、環境フットプリントを最適化しています。この柔軟な電力供給により、配電網でより多くの再生可能エネルギーを断続的に使用することができます。

資源利用の最適化



エネルギーと原料という形で廃棄物を再生します。

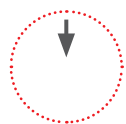
また、プラスチックを扱う大手企業として、数種類の樹脂をリサイクルし、バージン原料に代わる品質の再生原料を提供しています。

気候危機は現実的な問題となり、水は最も影響を受ける資源のひとつです。そんな中、デジタルイノベーションが、上下水道サービスのレジリエンスを高めています。ヴェオリアは宮城県における水資源保全のためにデジタルソリューションを活用しています。

日本の大手企業メタウォーターを含む10のパートナーで構成されるコンソーシアムメンバーとして、ヴェオリアは、20年間にわたり、上下水道施設の維持管理を担います。このプロジェクトは日本の水道事業において初のコンセッション事例となります。

フランスでは、**ジュルダン水循環経済プログラム**がさらに発展し、自然の水循環を再現することで未来への道を開いています。熱波と観光需要に伴う水ストレスに直面しているフランスのヴァンデ地域とヴェオリアは、この地域の飲料水を確保するために下水の再利用を試みています。これはフランスを含むヨーロッパ地域で初の取り組みとなります。下水処理場から出る水の一部は海洋に排出される代わりに精製施設で処理され、25 km 離れた植生地に運ばれます。

サーキュラーエコノミーの時代が来ました。水、廃棄物、エネルギーは何度も生まれ変わることができます。資源の確保、安定供給、そしてコスト管理のために、ヴェオリアは、水の循環、エネルギーの地域循環、エネルギー回収において、産業や都市の規模に合わせて消費を改善し削減する現地生産ソリューションを設計しています。ヴェオリアは、工場排水のリサイクルや下水再生水の利用を促進することで、取水量を削減します。効率的で環境に優しいエネルギーシステムを考案し、



30%

フォルシアとヴェオリアの共同開発プロジェクトが目標とする、2025年までに自動車内装に使用される再生プラスチックの割合

さらにいくつかの処理段階を経た後、飲料水製造施設で処理され家庭で消費できるようになります。このプログラムには3つの目的があります。夏季リゾート地へ循環的に水を供給すること、自然環境を保全すること、そして、フランスやその他の国に法改正をもたらすことです。水と同様に、廃棄物もリサイクルが可能です。廃棄物のエネルギー回収は化石燃料の使用量を削減します。**ベルギー**のアントワープ港では、有機廃棄物が都市のグリーンエネルギー鉱山になりつつあります。ヴェオリア初の有機廃棄物メタン化施設「**アップグレード・バイオ・エナジー**」が、バイオガスを使用した熱電併給プラントで発電された100%グリーン電力を地元の会社に供給します。

さらに、プラスチックのリサイクル量は、消費者の意識向上により、過去3年間で大幅に増加しました。メーカー各社は、さらに多く生産に取り入れるため、ヴェオリアに再生プラスチックを求めています。**フォルシア**との提携はバイオ的なものであり、2025年までに自動車の内装モジュールに再生プラスチックを30%使用することを目標としています。

イノベーションフォーカス

2030年までに、世界中の路上を走る電気自動車の数は現在の1,000万台から1億台に増加すると予想されています。これは大きな課題です。**ルノー、ヴェオリア、ソルベイ**の3社は、使用済み電池から回収した金属をクロズドループでリサイクルし、回収した材料の95%を新しい電池の製造に再利用するコンソーシアムを立ち上げるという一大プロジェクトに乗り出しました。レアメタルであるコバルト、ニッケル、リチウムの回収と再利用は、欧州にとって不可欠な資産です。変わりゆく世界において、水処理は依然としてきわめて重要なものです。



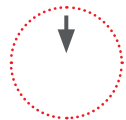
デジタルツールとヴェオリアの技術を組み合わせた**アクアビスタ-ハブグレードプラットフォーム**は、水処理をより効率的でスマート、かつ持続可能にしています。このソリューションは、地方自治体および企業の水処理をサイクルにおいて最適化し、水質を保証しながらコストを削減します。ハブグレードは、ウェブポータルを介して24時間365日、いつでもアクセスが可能です。



「**ヴェオリアは、自動車産業向けの二次原料の製造を通じて、エコロジカル・トランスフォーメーションの核である持続可能なモビリティの普及に貢献しています**」

エステル・ブラシアノフ
ヴェオリア COO

汚染物質の処理— 最も高難度な課題にも対応

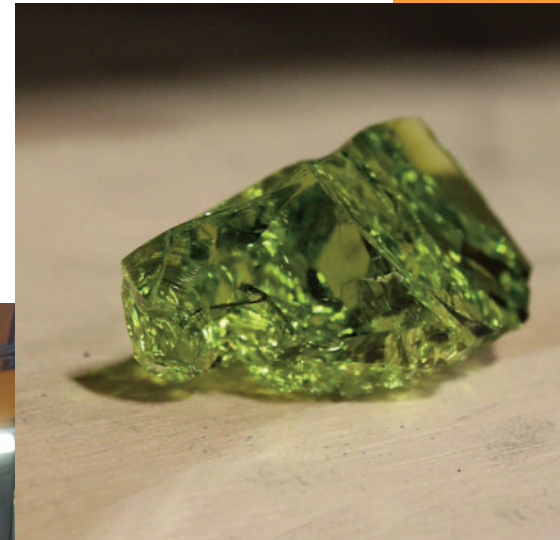


40 万^m³

2011年3月以降に、
福島第一原発において
浄化した水の量

人間の活動は、生態系を傷つけ、基盤を危うくする可能性があります。大気汚染、土壌汚染、水質汚染の削減は急務です。ヴェオリアは、有害廃棄物、産業廃水、微量汚染物質など様々なタイプの汚染物質処理に対するソリューションを提供しています。有害廃棄物や劣化した土壌、重金属や有機化合物などで汚染された土壌の処理で実績のある企業として、複雑な汚染に適したソリューションを開発してきました。大気汚染については、オフィスビル、病院、ショッピングモール、映画館、ホテルなどの空気質を監視、管理しています。また、ヴェオリアは独自の専門技術で、

複雑な汚染の防止と処理に対応しています。**南アフリカ**では、同国第2位の製油所であるダーバンの**エンゲン**製油所から出る有害廃棄物を管理しています。この施設は2023年までに石油製品の主要ターミナル兼貯蔵施設に転換される予定です。放射性廃棄物の処理には高度な専門技術が要求されます。2011年3月以来、ヴェオリアは、津波被害のあった**福島第一**原子力発電所において除染と解体作業に関わっています。これまでに40万^m³の汚染水を浄化し、1000万キュリー以上のセシウム、ストロンチウム、およびその他多くの同位体を



「現在ヨーロッパ地区の
管理下にある原子力部門は、
低・中レベル放射性廃棄物に
対する、ガラス固化技術
Geomelt® を産業規模まで
展開していきます」

ジャン＝フランソワ・ノグレット、
フランス・特別廃棄物欧州担当上級副社長

除去しました。遠隔操作ロボットを使用して解体し、廃棄物を処理しています。これにより、長期的に有効なソリューションの開発が可能になりました。ヴェオリアは、放射性廃棄物をガラス固化し、安定的で耐久性のある物質に転換する**GeoMelt®**技術も開発しました。この技術を展開するために、ヴェオリアはEDFと共同でWaste2Glassという合弁会社を立ち上げ、2021年12月にパリで開催された世界原子力展示会2021で表彰されました。

イノベーションフォーカス

ヴェオリアは長年、海洋のプラスチック汚染を重大な環境問題として捉えてきました。ヴェオリアはフランスのプロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地方にある4カ所の下水処理場でマイクロプラスチックを測定する**European Mediplast**プロジェクトを主導しています。下水中に存在するマイクロプラスチックの半分はポリエステルで、一部は洗濯機からの排水由来しており、その3分の2は1～125 μ mの微細なものです。下水処理場での処理行程で、マイクロプラスチックは99%以上取り除かれます。この結果は、地中海での汚染は他の発生源によるものであることを示しています。



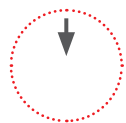
空から見ると、水はいつも青いとは限りません。しかし、宇宙からは、水路がどのように機能しているかを観察することができます。ヴェオリアのオープンイノベーションチームは、流域における藻類の検出、貯水池の監視、農業に関連する汚染という3つの基準に基づいて、**衛星によるモニタリングサービス**を試行しています。

「生活の質」の向上



ヴェオリアは、健康、生物多様性、食品、そして都市部で弱い立場に置かれた人々に対するインクルージョンの分野で、集中的にソリューションを開発しています。公衆衛生問題の核となる、水中の汚染物質を検出、無害化し、下水中のウイルスの存在をリアルタイムで定量化しています。陸上動物性タンパク質の製造、陸上養殖、都市農業といった新しい産業をサポートしています。ヴェオリアは、水道や下水処理サービスにアクセスできない人々の日常生活を改善するために、それぞれのニーズに即したソリューションも開発しています。例えば、**サウジアラビア王国**では、戦略的パートナーとして、**リヤド**周辺の住人 900 万人に上下水道サービスを提供しています。

オーストラリアでも、ヴェオリアは下水処理の専門技術を提供しています。シドニーの南に位置する**ジェリンゴン - ジェロア**の下水道システムを 20 年にわたり運営した後、ニューサウスウェールズ州のシドニー・ウォーターから新たに 14 年間の契約を獲得しました。50 km に及ぶネットワークには、1 つの下水処理場と 12 のポンプ場が含まれています。処理された下水は農業灌漑に再利用され、下水汚泥残渣は堆肥化に再利用されます。



**134 億
ユーロ**

30 年間の
官民連携プロジェクトによる
累計売上高

水と同様にエネルギーも、都市部が直面している課題です。中央アジアにおける主要市場の一つとなりつつある**ウズベキスタンの首都タシケント**で、ヴェオリアは暖房システムの更新を行っています。全家庭に個別のメーターを取り付け、エネルギー損失の原因となる温水を暖房回路から分離します。この 30 年におよぶ官民連携プロジェクトは 134 億ユーロの収益を生み出し、近代的でエネルギー効率の高いシステムを住民に提供します。



**「ヤラと開発する新しい肥料は、
栄養循環を実現することになります」**

エステル・ブラシリアノフ
ヴェオリア COO

イノベーションフォーカス

ヴェオリアは食品と健康分野における先進的なソリューション開発にも取り組んでいます。バイオコンバージョン（生物変換）技術により、農業や食品産業から排出される有機性廃棄物から飼料用タンパク質を製造しています。有機性廃棄物を食べさせたアブを濃縮タンパク質に変換するというシンプルな原理です。この技術により、家畜の飼料用魚粉を昆虫タンパク質に置き換えることができます。ヴェオリアは、マレーシアでスタートアップ企業である Entofood と共に**バイオコンバージョン**の産業化に初めて成功し、現在フランスに 2 番目の施設を建設しています。また、ヴェオリアはノルウェーの**ヤラ**と提携し、**鉍物肥料と有機性廃棄物**



由来の有機肥料を組み合わせた新しい肥料を市場に提供しています。これは現在、英国、スペイン、イタリアで試行されています。有機性廃棄物の循環によって生まれたこの新たな肥料は、製造時に使用するガスが少なく、炭素を土壌に還元します。人々の健康を守るために、ヴェオリアは疫学的モニタリングの分野でも革新を続けています。下水中の新型コロナウイルスの検出と定量化におけるパイオニアとして、当グループとそのパートナーである IPMC、IAGE、マルセイユ消防大隊は共同で**新型コロナウイルス感染傾向モニタリングシステム「Vigie Covid-19」**を開発しました。PCR スクリーニング技術を用いて変異株の存在を特定し、地域の疫学的傾向をモニタリングするための指標を自治体に提供しています。

この文書は、2022年6月にヴェオリアのコミュニケーション部門によって制作されました。

Photo credits: Lukas Bischoff, Aglaé Bory, Marc Dick/VWT, GettyImages (Santiago Urquijo/Moment; Malorny/Moment; Peetatham Kongkapech/Moment; kappaphoto/iStock), François Guichard, Veolia Nuclear Solutions, Veolia Media Library – Salah Benacer, Christophe Daguet, Alexis Duclos, Alexandre Dupeyron, Philippe Eranian, Olivier Guerrin, Stéphane Lavoué, Christophe Majani D'Inguibert, Richard Mas.

Graphics: Laure Duquesne

Translation: Alto International

Creation and production: HAVAS PARIS

Printed by STIPA.

Resourcing the world

Veolia

30, rue Madeleine-Vionnet - 93300 Aubervilliers - France

Tel.: +33 (0)1 85 57 70 00

www.veolia.com